

2025 年度 長岡大学シラバス

授業科目名	暮らしと行政 (The citizen life and administration)					担当教員	石川 英樹 (イシカワ ヒデキ)	
2020-23 年度 入学者 (20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	
2024-25 年度 入学者 (24K-25K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	知識定着・確認型 AL／外部講師 招聘科目
	2413-0-13-028	教養科目	選択	2 単位	1 年次	後期		

① 授業のねらい・概要
国の行政の仕組みと役割や主要施策について理解を深め、主権者として国家・社会の形成に主体的に参加し、さらに卒業後に行政機関の職員として働くことも見据えて、行政とその主要施策と市民生活の関わりについて説明できる能力の醸成を目指す。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
地域社会に貢献する姿勢／職業人として通用する能力／情報収集・分析力
③ 授業の進め方・指示事項
各行政機関の担当者が配布資料をもとに授業を行う。定期試験（レポート）に加えて、毎回のコメントシートにより理解度を確認する。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
特になし
⑤ テキスト（教科書）※授業で使用する。
テキストは指定しない。毎回レジュメを配付する。
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。
特になし。必要に応じて授業中に紹介する。
⑦ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
この授業を通して、国の各行政機関の役割や業務内容等を理解し、学校生活を有意義なものとするとともに、将来の選択肢の一つとして行政機関への就職についても考えるための気づきを得る機会としていただきたい。なお、外部講師の都合により、講義の順や内容が変わる場合がある。
⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安
(i) 国の行政の仕組みとその役割や主要施策について他者に説明することができる。 (ii) 行政とその主要施策と市民生活の関りについて他者に説明することができる。 (iii) 行政とその主要施策について、考察することができる。

⑨ ルーブリック					
評価基準	S	A	B	C	D
評価項目	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 国の行政の仕組みとその役割や主要策について他者に説明できる	国の行政の仕組みとその役割や主要施策について、資料等に頼らず説明でき、授業内容を越えた学修成果を示している。	国の行政の仕組みとその役割や主要施策を理解し、資料に頼らず、説明できる。	国の行政の仕組みとその役割や主要施策について、資料を参考にしながら説明できる。	国の行政の仕組みとその役割や主要施策について、資料を参考にしながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる。	国の行政の仕組みとその役割や主要施策について、資料を見ても、教員等の支援を受けても説明できない。
(ii) 行政とその主要施策と市民生活の関わりについて他者に説明できる。	行政とその主要施策と市民生活の関りを理解し、資料に頼らず説明でき、授業内容を越えた学修成果を示している	行政とその主要施策と市民生活の関りを理解し、資料に頼らず説明できる。	行政とその主要施策と市民生活の関りについて、資料を参考にしながら説明できる。	行政とその主要施策と市民生活の関りについて、資料を参考にしながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる	行政とその主要施策と市民生活の関りについて、資料を見ても、教員等の支援を受けても説明できない。
(iii) 行政とその主要施策について、考察できる。	行政とその主要施策について、資料に頼らず、考察でき、授業内容を越えた学修成果を示している。	行政とその主要施策について、資料に頼らず、考察できる。	行政とその主要施策について、資料を参考にしながら考察できる。	行政とその主要施策について、資料を参考にしながら、さらに教員等の支援を受けて考察できる。	行政とその主要施策について、資料を見ても、教員等の支援を受けても考察できない。

⑩ 学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	55%		45%				100%
(i) 国の行政の仕組みと役割や主要施策について理解している。	15%		15%				30%
(ii) 行政とその主要施策が市民生活とどう関わっているのかを理解している。	20%		15%				35%
(iii) 行政とその主要施策について、授業内容を基に考察できる。	20%		15%				35%
フィードバックの方法	質問があった場合は、後日回答する。						

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）	
1	財務事務所の地域における取組と役割について (財務省 関東財務局 新潟財務事務所)	配布資料による財務事務所の地域における取組と役割についての振り返り	90 分
2	最近の税関行政等について (財務省 東京税関 新潟税関支署)	配布資料による最近の税関行政等についての振り返り	120 分
3	暮らしと税 (国税庁 関東信越国税局 長岡税務署)	配布資料による暮らしと税についての振り返り	120 分
4	雪がもたらす「負の側面」と「正の効果」を考える (国立研究開発法人 防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター)	配布資料による雪がもたらす「負の側面」と「正の効果」を考えるについての振り返り	120 分
5	日本の司法 (新潟地方検察庁)	配布資料による日本の司法についての振り返り	120 分
6	新潟地方法務局が担っている業務、主要施策等について (法務省 新潟地方法務局)	配布資料による新潟地方法務局が担っている業務、主要施策等についての振り返り	120 分
7	裁判所の組織における裁判官及び書記官等の役割について (新潟地方裁判所/新潟家庭裁判所)	配布資料による裁判所の組織における裁判官及び書記官等の役割についての振り返り	120 分
8	国有林野事業の概要について (林野庁 関東森林管理局 中越森林管理署)	配布資料による国有林野事業の概要についての振り返り	120 分
9	我が国におけるコメの現状 (農林水産省 北陸農政局 新潟県拠点)	配布資料による我が国におけるコメの現状についての振り返り	120 分
10	日本銀行の役割と新潟県経済の現状と課題 (日本銀行 新潟支店)	配布資料による日本銀行の役割と新潟県経済の現状と課題についての振り返り	120 分
11	刑務所の現状 (法務省 矯正局 東京矯正管区 新潟刑務所)	配布資料による刑務所の現状についての振り返り	120 分
12	2 現下の情勢下における労働分野の諸課題と労働行政の取組について (厚生労働省 新潟労働局)	配布資料による現下の情勢下における労働分野の諸課題と労働行政の取組についての振り返り	120 分
13	海上保安行政 ～取組みと課題～ (海上保安庁 第九管区海上保安本部)	配布資料による海上保安行政 ～取組みと課題～についての振り返り	120 分
14	わが国を取り巻く安全保障環境、わが国の安全保障・防衛政策 (防衛省 自衛隊)	配布資料によるわが国を取り巻く安全保障環境、わが国の安全保障・防衛政策についての振り返り	120 分
15	日本の財政の現状について (財務省 関東財務局 新潟財務事務所)	配布資料による日本の財政の現状についての振り返り	120 分

⑫ アクティブラーニングについて
知識定着・確認型 AL を採用する。毎回のコメントシートによって理解度を確認し、質問があった場合や必要に応じて、フィードバックをする。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性